

# カタリナ

学報

第45号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2020. 12. 1



## カトリック大学に求められる将来像

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



21世紀に生きる大学が、現状の中で来るべき時代に備え、どのような展望をもってその使命を果たしていくか、過去から学ぶ視点に立ち、以下のような歴史的経緯からカトリック大学に求められる将来像について考察する。

### 1. 創立者聖ドミニコの霊性みる大学の理念 (1216) :

13世紀の初頭、聖ドミニコが彼独自の修道会の設立許可を教会に願ひ出たとき、その修道会は、中世時代の伝統的な修道生活の形態と異なる構想であったが、教皇ホノリウス3世は「その修道会が信仰の擁護者、世界の真理の光」となることを宣言し、正式に認可した。ドミニコの独創性は、観想しその実を他に伝える「説教者兄弟会」というものであった。修道会を勉学と説教職のために位置づけ、観想と活動を両立させた最初の修道会となった。ドミニコは、当時教会が直面している異端と戦い、誤謬から救うために彼の兄弟たちが正統な神学を学ぶことを何よりも重視した。

創立後、彼が第一に行ったことは、修道者たちをイタリアのボローニャ大学、フランスのパリ大学、スペインのパレンシア大学、イギリスのオックスフォード大学など、中世時代の学問の中心地である大学都市に派遣し勉学させた。修道者達が大学で学ぶということは当時として極めて異例のことであった。

このようなドミニコ会の先見の明は、やがて19世紀フランスの自由主義的カトリシズムの先鋒とし

て知られていた革新的なラコルデール師に継承され、彼はドミニコ会の現代性と柔軟性は意味深いものであると理解していた。「わたしは、ドミニコ会の規則よりも新しくその時代とその要求に適応する他の良いものを見出すことができなかった。その歴史以外には古いものは何もない。」と言ひ、彼はドミニコ会士となった。

ドミニコは当時のあらゆる異端と政治的紛争の渦中にありながら、将来受けるであろうあらゆる可能性を予知しながら、彼の船はその装備を何一つ喪失することなく800年という歴史を走破してきた。彼は後に続く兄弟姉妹たちが、「愛と真理」の精神を持つ学問の修道会として、時代を生き抜くための刷新と適応を繰り返して将来に挑戦する姿を期待していたと思う。

### 2. 田中耕太郎の「カトリシズムと大学の理念」 (1948) :

1945年戦後の混乱の只中であつた日本において、田中耕太郎氏は日本再生の道は、ひとえに教育の確立にあると説いた最初の文部大臣であり、後の最高裁判所長官であり、カトリック信者であつた。戦後の日本の教育の最も大きな変革は、私立学校において宗教上の教育または儀式を実施することを決定し、終戦の翌年、氏は衆議院本会議において、彼の「教育基本法の理論」(1961)に基づいて、各派共同提案の「宗教的情操教育に関する決議」案を圧倒的多数をもって可決し、「過去の民族的、個人的利己主義を克服して、道義退廃から国家を救うには、

教育の中に宗教的要素を浸透せしめる以外に道がない」として、賛成の決意を明白に表明した。それは、日本国憲法の確立に基づく民主的国家的建設のため、世界の平和と人類の福祉に貢献しようとする決意を示すものであった。この理想の実現は、実に教育の力によるべきもので、敗戦の根本的原因是、すべての思想の誤謬に帰着し、戦争に対する倫理観の欠如であったという。

特に「カトリシズムと大学の理念」の中で、「宗教は道徳以上の世界を人類に啓示するという使命がある。それは個人の救霊ばかりでなく、世界史の意義、全人類の救済の道程を示すのである。特に人格の完成のためには人間の内面の回心が求められている。」(839)という。学問の真理探究のために、各学部が自己の専門の完成及び専門を超える対象の認識のために共同研究することが要求されるといっている。彼は専門的な学問分野においては、学究的な相互連携の重要性を指摘しており、今日のカトリック大学における真のキリスト教的ヒューマニズムをすでに志向していたといえる。

### 3. ローマカトリック教会における「第2バチカン公会議 (1962-1965)」:

カトリック教会は、2つの世界大戦後、大きな転換期を迎えた。それは地球規模の戦乱と貧困という未曾有の試練を受けて、教会は現実の人々と共に生きる開かれた教会となった。第2バチカン公会議は、「大学における学問を日々、より深く理解し、進歩する時代の新しい問題と研究成果を慎重に考慮し、教会博士聖トマス・アクイナスの例にならって、信仰と理性がどのように唯一の真理に合致するかをより深く理解するために研究すべきである。」と述べている。特に、カトリック系の大学と他の大学において、全人類の福祉についての貢献のあり方を共有し、大学の学問分野の領域において、諸大学との連携によって相互に協力し、研究成果を交換し合い、教師観の交流を図りながら、社会の善に貢献しなければならないとのべている。この地球の富をすべての民族が公平に分ち合うことの必要性を強調し、難民問題についても、カトリック大学は世界平和のための意識を高め、共同善と人類の福祉ために積極的な参画が必要であると主張している。

### 4. 教皇ヨハネ・パウロ2世の「カトリック大学憲章」(1990):

教皇ヨハネ・パウロ2世は、この憲章を初めてカトリック大学のために起草した。その冒頭にカトリック大学が教会の心臓から生まれたものであると称し、その使命の特異性を強調している。特に、「信仰と理性の間の対話」について、その方法が真

に科学的であり、また倫理的基準に背かない限り、信仰と科学は対立することはない。なぜなら、地上の事物と信仰の事柄は共に同じ神に由来しているからである。」という。

さらに、カトリック大学の研究活動に問われているのは、人間生命の尊厳、正義と平和の実現、自然の保護、政治的安定の追求、世界資源の公平な分配、人間の幸福に資する経済的、政治的秩序の創出についても研究すべきである。カトリック大学は、その国の諸大学との間に対話と協力が推進されることで、文化の発達、諸文化の相互理解、国際的生態系を踏まえた自然保護に役立つ。教皇は、カトリック大学こそ、「新しいものと古いもの」(マタイ13:52)、つまり新旧包摂した文化の宝を見出すための現代に最もふさわしい助け手となる使命を有していると結んでいる。

### 5. 教皇フランシスコの使徒的憲章『真理の喜び』

ーカトリック大学改革についての指針 (2018):

この憲章は特に大学に学ぶすべての学生がこの現実の世界に目を向け、あらゆる分野との対話を通じて、信仰と理性に基づく確信のもとで、真実を求めて前進することを望んでいる。特に教皇は、教会の広いヴィジョンと共に高等教育は「前進すること」(Go Forth)を強調された。この意味は時代と共にありながら時代を先取るための真の愛と叡知が要求されるということである。つまり、「信仰と理性との間の対話」が必要とされる。現代世界のあらゆる仮想の世界や外見に惑わされることなく、大学はいわばある意味において社会の「文化的実験室」となること。カトリック大学は、パラダイム(構想)の根本的転換がもたらされる時代にきているという。世界とのネットワークを広げ、現実の新しい場面として提供出来るパン種、塩、光となって貢献し、何を手にしているかではなく、それを誰と共有するかという問いにどのように答えていくかが求められている。

以上述べた過去から現代への示唆を受けて、本学に求められるパラダイムの根本的な改革のためには、愛と真理の建学の精神に基づく信仰と理性の対話を通じて、他大学との学際的な連携と世界を知る文化的交流と地域社会の福祉と協力が求められているということである。

従って、かつて創立者聖ドミニコが刷新と適応の道を歩んだように、われらの船も堅固にして柔軟な装備を有して、時代の荒波の中を「外に向けて前進する」ための叡知と勇気を神に願いたいと思う。

### ●2020年度聖カタリナ大学人間文化研究所フォーラム

聖カタリナ大学人間文化研究所では、フォーラムを開催いたします。なお、今年度はコロナウイルス感染防止対策のため、本学関係者のみの参加とさせていただきます。

一般の方への公開講座にはなりません、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第1回：令和2年9月30日(水) 16:30~18:00  | 第2回：令和2年10月28日(水) 16:30~18:00 |
| 第3回：令和2年11月25日(水) 17:30~19:30 | 第4回：令和2年12月18日(金) 11:00~13:00 |
| 第5回：令和3年1月27日(水) 16:30~18:30  | 第6回：令和3年2月10日(水) 13:00~15:00  |

### ●2020年度聖カタリナ大学キリスト教研究所フォーラム

聖カタリナ大学キリスト教研究所では「愛と真理」をメインテーマに掲げ、フォーラムを開催いたします。なお、今年度はコロナウイルス感染防止対策のため、本学関係者のみの参加とさせていただきます。

一般の方への公開講座にはなりません、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- |                               |                               |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 第1回：令和2年10月21日(水) 16:30~18:00 | 第2回：令和2年11月18日(水) 16:30~18:00 |
| 第3回：令和2年12月16日(水) 16:30~18:00 | 第4回：令和3年1月20日(水) 16:30~18:00  |
| 第5回：令和3年2月17日(水) 16:30~18:00  |                               |

### ●多目的屋内運動場「<sup>デポルテ</sup>Deporte」の完成

6月12日(金)、北条キャンパス内に、雨天時でも室内運動やサークル活動ができる多目的屋内運動場「<sup>デポルテ</sup>Deporte」が完成しました。

当日は、本学関係者と施工業者が出席して竣工式を開催しました。

式終了後には新型コロナウイルス感染症の感染防止に最前線で戦う医療従事者を称えるため、クラブ・フォー・ケアラズを実施し、参加者全員で30秒間感謝の拍手を行いました。

その後、同施設の内覧会と活用案内も兼ねて、硬式野球部・サッカー部が初練習を行いました。

#### 【施設説明】

<sup>デポルテ</sup>Deporteはスペイン語で「スポーツ」を意味します。

全面人工芝を備え、授業や硬式野球部をはじめとした体育系部活動の雨天時の練習場として使用することが可能です。

人工芝は、明治神宮野球場（神宮球場）と同様のスポーツ専用ロングパイル人工芝を使用しています。



### ●キッチンカーによる昼食販売を開始

5月、北条キャンパスで、キッチンカー（移動販売車）による昼食販売を開始しました。

今回の出店は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止による学生食堂の営業規模縮小に伴う学生への昼食提供が目的です。

愛媛キッチンカー協会の協力のもと、毎日異なる店舗（ランチ・スイーツ等）が出店しています。

フルーツサンド・クレープ・タピオカドリンク等のインスタ映えするメニューもあり、学生にも好評を得ています。出店するキッチンカーによっては、一般の方のご利用もあります。



## ●受験生のための入試情報サイトをリニューアル

入試情報サイトを6月に完全リニューアルしました。

▶受験生のための入試情報サイト <https://www.scu-nyushi.com/>

## ●松山赤十字病院との第2回連携協議会開催

5月29日(金)、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い延期となっていました松山赤十字病院と本学との第2回目の連携協議会を開催いたしました。

会議では、今年度事業および来年度事業について話し合い、新たな事業にも取り組んでいくことが決まりました。

## ●附属幼稚園児が多目的屋内運動場「<sup>デポルテ</sup>Deporte」を初利用

6月29日(月)、北条キャンパスに併設する聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園の園児が、6月に完成したばかりの「デポルテ」を初めて利用しました。

最初に附属幼稚園の先生より施設の説明と注意事項の説明がありました。

その後、園児は、かけっこや鬼ごっこ等をしてデポルテ内を走り回って楽しみました。



## ●「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員」の資格を取得

レクリエーション・インストラクターの資格取得を目指している保育学科2年生が、本学の記念体育館で開催された「チャレンジ・ザ・ゲーム普及審判員」の養成講習会に参加し、資格を取得しました。

この資格は、公益財団法人 日本レクリエーション協会が認定しているものです。「チャレンジ・ザ・ゲーム」は、グループで記録に挑戦して交流を楽しみながら、身体を動かす楽しさを味わえるスポーツ・レクリエーションです。

講習会では10種目の競技を体験しながら、ルールを理解し対象者や場面に応じて展開するノウハウを学びました。



## ●日本ユニセフ協会より感謝状

北条キャンパス受付に設置の募金箱から、日本ユニセフ協会へ7月1日(水)をもって全額寄付し感謝状を頂きました。

なお、本学学長は愛媛県ユニセフ協会会長も務めており、今後も日本ユニセフ協会の活動を応援してまいります。

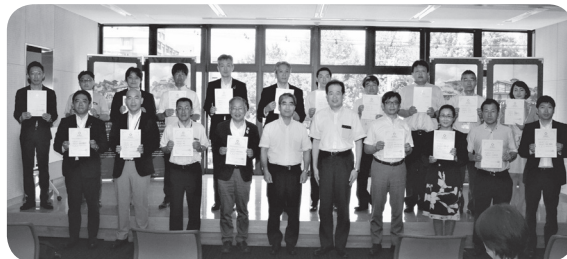


## ●松山市SDGs推進協議会に入会

7月31日(金)、学校法人 聖カタリナ学園 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部は松山市SDGs推進協議会に入会し、本学副学長 坂原明 教授が同会のキックオフ総会に出席しました。

また、本学からは、副学長 坂原明が松山市SDGs推進協議会役員会副会長に、人間健康福祉学部長 恒吉和徳が同会幹事会の幹事に選任されました。

今後は松山市、産・学・民・官・金など様々な関係者と連携協力し、SDGsの達成に向けた取り組みに協力していきます。



## ●愛媛経済同友会との連携に関する協定を締結

8月7日(金)、「愛媛経済同友会と聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部との連携に関する協定」の調印式がいよてつ会館で開催されました。

調印式では、愛媛経済同友会の代表幹事 西川義教氏(愛媛銀行頭取)と代表幹事 清水一郎氏(伊予鉄グループ代表取締役社長)、ホビノ・サンミゲル学長が協定書を交わしました。

この連携協定は、愛媛経済同友会と聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部が持つ知的・人的・物的資源を相互活用することで、相互の連携を強化し、地域のより一層の飛躍・発展に資すること等を目的とします。

今後は愛媛経済同友会と連携協力し、大学内の知的財産や人材等を積極的に活用することにより、産官学連携等の様々な活動に取り組んで参ります。



## ●公益社団法人 JMA 国際交流協会との連携に関する協定を締結

10月1日(木)、聖カタリナ大学北条キャンパスで「聖カタリナ大学と公益社団法人 JMA 国際交流協会との外国人介護人材受け入れに関する連携協定書」の調印式が開催されました。

調印式では、公益社団法人 JMA 国際交流協会の代表理事 森浩昭氏とホビノ・サンミゲル学長が協定書を交わしました。

協定書では、介護領域における人材育成を通じた開発途上地域等への技能等の移転による国際協力の推進を図ることを目的に連携・協力することを掲げており、今後、様々な活動に取り組んで参ります。

北条キャンパスでは、「介護」の専門学習をよりカリキュラムの整った学べる環境を提供する予定です。

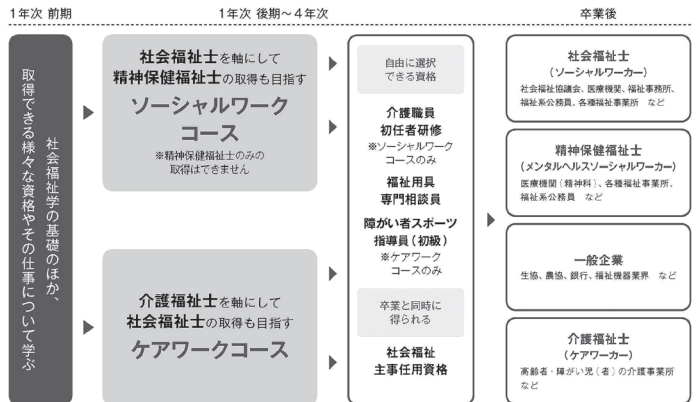
また、学内に併設されている「特別養護老人ホーム聖マルチンの家」では、実際の実習の前に施設利用者の方々のシーツ交換や車椅子への移乗など日常生活に必要な様々な介助や、コミュニケーション技術、認知症状の行動や背景を理解出来るように体験学習を実施する予定です。

### ◎ 入学後に取得資格選択から就職支援までサポートします

## ●社会福祉学科REBORN

社会福祉学科は、2021年4月、多様化する時代のニーズや社会問題を解決できる人材を育成するため、専攻制からコース制(ソーシャルワークコース・ケアワークコース)へと変更します。

これまでは、出願時に専攻を決定していましたが、コース制に変更したことによって、入学後に自分の興味・取得したい資格に応じて、コースを選択することが可能になります。



## ●Zoom オンライン個別相談会について

自宅や学校のパソコンやスマートフォンから参加できるオンライン個別相談会を実施しています。

学科の学びや入試に関する疑問など、どんな些細なこともでも構いません。安心して受験への準備ができるようお気軽にご相談ください。



## ●公式YouTubeチャンネルにてインターネットラジオ「カタにゃんたいむ」を開始

公式YouTubeチャンネルにて、本学の魅力をラジオ形式でお伝えるインターネットラジオ「カタにゃんたいむ」をはじめました。

いろいろな方をゲストにお迎えして、各学科の学びや施設の紹介など、さまざまな魅力をお伝えしていきますので、ぜひご覧ください!



◆◇ 令和2年度前期行事 (R2.4.1～R2.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事	
4	1	水		新任教職員研修	
			大	教授会、選考教授会	
	2	木		危機管理対策本部会議	
			大	人間社会学科会議、学生生活委員会	
			短	教授会、人事教授会	
	3	金		入学式(中止)、新入生ガイダンス	
			短	保育学科会議	
	6	月		オリエンテーション(～4/7)	
	8	水		危機管理対策本部会議	
			大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議	
	9	木		入試・募集委員会	
	14	火		教学マネジメント委員会	
	15	水		危機管理対策本部会議、学生生活委員会、障がい学生支援チーム会議	
			大	社会福祉学科会議、看護学科会議、研究倫理委員会看護学科分会	
			短	保育学科会議	
	16	木	大	教務委員会、教職課程委員会	
	17	金		キリスト教研究所所員会	
	20	月		危機管理対策本部会議	
	22	水		就職委員会、FD委員会	
			大	教授会	
	24	金		理事会、SD委員会	
			大	社会福祉学科会議	
	28	火	大	教務委員会	
	29	水		学園創立記念日	
	5	1	金		危機管理対策本部会議、財務委員会、遠隔授業説明会
				大	研究倫理委員会
				短	教授会
		8	火		学生生活委員会
		13	水		学生生活委員会、奨学制度運営委員会、サルーテ運営委員会
大				教授会、健康スポーツ学科会議、研究倫理委員会看護学科分会	
短				保育学科会議	
15		金		危機管理対策本部会議、SD委員会	
			大	社会福祉学科会議	
18		月	大	看護学科会議	
20		水		国際交流委員会、広報委員会、教務委員会	
			大	研究倫理委員会	
21		木		教務委員会、危機管理対策本部会議	
26		火	大	人事委員会	
				選考教授会、社会福祉学科会議、看護学科運営会議	
27		水	短	保育学科会議	
			日赤連携協議会、ボランティアセンター運営委員会		
29		金		理事会・評議員会	
30		土		学生生活委員会、募集広報WT会議	
			大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議	

月	日	曜	区	行 事	
6	3	水	短	教授会	
			大	教授会	
	10	水	短	保育学科会議	
			大	奨学制度運営委員会	
	12	金		SD委員会	
	17	水		社会福祉学科会議、看護学科会議	
			大	危機管理対策本部構成員会議	
	18	木		人事委員会	
	19	金	短	パイプオルガン演奏会実行委員会、学生生活委員会	
			大	教務委員会	
	27	土		評議員会・理事会	
	7	1	水	大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科会議、学生生活委員会
				短	教授会
		3	金		教学マネジメント委員会
		5	日		オープンキャンパス
		8	水		クラブ活動協議会、図書館委員会
大				教授会	
短		保育学科会議			
9		木	大	研究倫理委員会	
14		火	大	研究倫理委員会、教職課程委員会	
			水	強化指定クラブ運営協議会、人間文化研究所所員会議	
15		水	大	社会福祉学科会議、看護学科会議	
			短	保育学科会議	
16		木		衛生委員会	
18		土		オープンキャンパス	
22		水		奨学制度運営委員会、後援会奨励金・課外活動奨励金授与式	
			大	人事委員会、教務委員会	
	短		保育学科会議		
29	水	大	教職課程委員会		
30	木		危機管理対策本部構成員会議		
		大	社会福祉実習委員会		
31	金		理事会		
8	3	月		危機管理対策本部構成員会議	
			大	社会福祉実習委員会	
	5	水	大	健康スポーツ学科会議、看護学科運営会議、学生生活委員会	
			短	教授会	
	6	木	大	大学評価委員会	
	7	金		IR委員会、学生生活委員会	
			大	教職課程委員会	
	8	土		聖ドミニコの日	
	12	水		FD研修会、入試・募集委員会	
			大	教授会	
	短	保育学科会議			
	21	金		危機管理対策本部構成員会議	
	25	火		夏季SD研修会、奨学制度運営委員会	
	26	水		サルーテ運営委員会	

月	日	曜	区	行 事
8	26	水	大	教務委員会
	27	木	大	学生生活委員会
	30	日		オープンキャンパス
9	1	火		第三者評価委員会
		大		人事委員会
	2	水	大	学生生活委員会、市駅キャンパス運営会議
	3	木	短	人事教授会、教授会、人事委員会、保育学科会議
	6	日	大	看護学科説明会
	9	水	大	教授会、研究倫理看護学科分会
		短		保育学科会議

月	日	曜	区	行 事
9	13	日	大	看護学科教育懇談会
	16	水		危機管理対策本部構成員会議
		大		人間社会学科会議
	18	金		後学期履修ガイダンス
		大		社会福祉学科会議
	23	水		前学期卒業式、FD委員会
		大		健康スポーツ学科会議
	26	土		評議員会・理事会
	30	水		人間文化研究所フォーラム、奨学制度運営委員会

## ◆◇ 人 事 ◇◇

《令和2年6月1日付け》

【退職】

学生支援課

担当課長 大橋 尚哉

《令和2年6月4日付け》

【新規採用】

就職課

事務職員(非) 森田 知実

入試課

事務職員(非) 森 絵莉菜

看護学科事務局

実習助手(非) 佐伯 美鈴

《令和2年10月21日付け》

【新規採用】

会計課

技術職員守衛(非) 稲垣 正博

《令和2年10月23日付け》

【退職】

事務局長 内山 光弘

《令和2年10月31日付け》

【退職】

会計課

事務職員主任 正木 祐輔

《令和2年11月1日付け》

【新規採用】

事務局長 中村 和也



## ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



## ◆◆ 令和2年度教授会議題（前期） ◆◆

### 【聖カタリナ大学教授会議題】

#### R 2. 4. 1 第1回

1. 2021年度聖カタリナ大学入学試験概要(案)について
2. 卒業の認定について
3. 退学について
4. 除籍について
5. 聴講生の受入について
6. I R推進委員会規程の一部改正について
7. 教職課程委員会規程の一部改正について

#### R 2. 4. 22 第2回

1. アドミッション・ポリシーについて

#### R 2. 5. 13 第3回

1. 復籍について
2. 休学について
3. 退学について

#### R 2. 6. 10 第4回

1. 休学について
2. 求める教員像および教員組織の編成方針について

#### R 2. 7. 8 第5回

1. 科目等履修生（外国人留学生）の受け入れについて
2. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
3. 聖カタリナ大学学生支援に関する方針(案)について
4. 聖カタリナ大学教育研究等環境の整備に関する方針(案)について

#### R 2. 8. 12 第6回

1. 退学について
2. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について
3. 4学科の「ディプロマポリシー」と「カリキュラム・ポリシー」の改正について
4. 強化指定クラブについて

#### R 2. 9. 9 第7回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復学について
4. 放送大学との単位互換協定書の締結について
5. 社会連携・社会貢献に関する方針について
6. 聖カタリナ大学 学則の一部改正について

### 【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

#### R 2. 4. 2 第1回

1. 2021年度聖カタリナ大学短期大学部入学試験概要(案)について
2. 退学について
3. 除籍について
4. I R推進委員会規程の一部改正について

#### R 2. 5. 8 第2回

1. 休学について

#### R 2. 6. 3 第3回

※報告・連絡事項のみ

#### R 2. 7. 1 第4回

1. 聖カタリナ大学短期大学部学生支援に関する方針(案)について

#### R 2. 8. 5 第5回

1. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

#### R 2. 9. 3 第6回

1. 休学について
2. 放送大学との単位互換協定書の締結について
3. 強化指定クラブについて

## ◆◇ 令和2年度クラブ等活動状況 ◇◆

R2.10.1 現在

### 体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
サッカー部	通年	2020 四国大学サッカーリーグ(1部)	四国地方内	—	1部リーグ:1勝5敗 (令和2年9月26日現在)
	通年	2020 インディペンデンスリーグ四国	四国地方内	—	1勝3敗1分 (令和2年9月30日現在)
ダンス部	9/19	ダンス公演 (いもたき祭り)	松山中央公園坊っちゃん スタジアム外周	8	
軟式野球部	9/16・23	令和杯	北条スポーツセンター	13	2位
陸上競技同好会	7/11・12	第1回 えひめ記録会	愛媛県総合運動公園陸上 競技場	6	男子:(200m 2位) 女子:(200m 4位、棒高跳 4位)
	7/25・26	佐々木記念西条ひうち記録会	西条ひうち陸上競技場	7	男子:(三段跳 1位、100m 5位、 やり投 6位) 女子:(棒高跳 5位、200m 6位、 100m出場)
	8/22・23	西条ひうちトラック記録会	西条ひうち陸上競技場	8	男子:(200m 2位、100m 7位) 女子:(100m 6位、4×100mR 6 位、200m、1500m出場)
	9/26・27	第2回 えひめ記録会	愛媛県総合運動公園陸上 競技場	7	男子:(100m、200m、300m出場) 女子:(5000mW 2位、棒高跳 4 位、100m 8位、200m、300m出場)

### 体育局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
水泳同好会	9/5・6	第51回 中国四国学生選手権水泳競技大会 兼 第50回 中国四国国公立大学選手権水 泳競技大会	山口きらら博記念公園水 泳プール	2	男子:(50m自由形 6位・9位、 100m平泳ぎ 8位、100mバタフ ライ 5位)

### 文化局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
学生赤十字奉仕団	通年	啓発活動(献血)	愛媛県赤十字血液セン ター大街道出張所	—	献血の呼びかけ、献血ルーム内の 案内

## ◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学短期大学部保育学科  
助教 宮崎 正宇

2020年4月から保育学科の教員として勤務させていただいております。専門領域は、子ども家庭福祉（社会的養護）で、主に福祉に関する科目と保育実習に関する科目を担当しております。最近の研究テーマは、児童養護施設における自立支援で、施設職員に対して子どもの自立に関するインタビュー調査を行ったりしています。

教員になるまでの経緯を少しお話させていただきますと、私は、社会福祉系大学院修了後、13年にわたり高知県にある児童養護施設の児童指導員として、子ども達が将来社会人として自立できるよう、日常生活支援や学習支援、進路支援等に取り組んできました。一方で、実習指導者として社会福祉士や保育士を目指す実習生を年間通して数多く指導してきました。そうした中で、虐待を受けた子ども、知的障害や発達障害のある子どもの対応に戸惑いながら苦慮している多くの実習生に対して、具体的な実践場面や事例等を通してその意味を分かりやすく伝えていくことが自分の責務であると強く意識してやってきました。

実際に、厚生労働省が公表した「児童養護施設入所児童等調査結果（平成25年2月1日現在）」によりますと児童虐待の増加などに伴い乳児院に入所する子どものうち約4割、児童養護施設に入所する子どものうち約6割は虐待を受けています。そして、社会的養護を必要とする子どもにおいては障害があ

る子どもが増加し、児童養護施設においては約3割に障害等があるといった現状が示されており、複雑かつ多様な課題のある子ども（とりわけ高齢の子ども）に対する自立支援の困難性が増しています。他方、児童福祉施設に入所する子どもの保護者自身も貧困や精神疾患、地域からの孤立といった様々な課題を抱えており、施設内の子どもだけでなくその家族まで視野に入れた幅広い支援が求められています。さらに今日、育児不安や育児困難を抱えた地域の子育て家庭に対する支援や地域の里親支援等も社会的に必要不可欠な状況です。

こうした中であって児童福祉施設の業務内容は、従来にも増して様々な専門的な能力が求められてきています。これまでは主として子どものみを対象とした業務内容であったため、ケアワーク（保育）の能力が求められてきました（もちろんこうした能力は今後も重要です）が、現在の子どもや家庭の状況下では、より個別のかつ普遍的なソーシャルワーク（相談援助）の能力も必要になってきます。

次代の保育者を担う学生が、それらの専門的知識や技術を身につけ、専門職として地域社会で貢献できるよう、現場経験を最大限に生かしつつ、先生方にご指導をいただきながら教育・研究活動に励んで参りたいと思っております。

聖カタリナ大学・短期大学部学報  
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地  
TEL. 089-993-0702(代)  
<https://www.catherine.ac.jp>  
編集・発行  
広報委員会  
[kouhou@catherine.ac.jp](mailto:kouhou@catherine.ac.jp)